

第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(令和5年度実績)

■令和5年度 教育・保育の需要量の見込みと確保方策(提供体制)〔※事業計画中間見直し書4ページ一部抜粋〕

		計画策定時 (A)					
		1号	2号		3号	0歳	1・2歳
			幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外			
①需要量の見込み 【利用希望児童数】		793	908	1,243			
		522	271	637	606	177	429
②確保方策 児童定員合計	特定教育・保育施設	★を除く 1,035	－	802	704	190	514
	上記以外の幼稚園※1	－	－	－	－	－	－
	幼稚園及び預かり保育	★ 271	－	－	－	－	－
	特定地域型保育事業	－	－	－	－	－	－
	認可外保育施設	－	－	0	68	39	29
	合計	1,306		1,574	772	229	543
	過不足 (②-①)	513	165	166	52	114	
		幼稚園 ← → 保育所					
		実績(R6.3現在) (B)					
		1号	2号		3号	0歳	1・2歳
			幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外			
		780	1,042	1,378			
		475	305	737	641	158	483
	★を除く	946	－	840	639	162	477
		－	－	－	－	－	－
	★	305	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－
		－	－	10	41	7	34
		1,251	850	1,530	680	169	511
		471	113	39	11	28	
		幼稚園 ← → 保育所					
		実績(B)-計画(A)					
		1号	2号		3号	0歳	1・2歳
			幼児期の学校教育の利用希望が強い	左記以外			
			134				
		▲ 47	34	100	35	▲ 19	54
		▲ 89	－	38	▲ 65	▲ 28	▲ 37
		－	－	－	－	－	－
		34	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	▲ 32	5
		▲ 55	48	▲ 92	▲ 60	▲ 32	
		▲ 42	0	▲ 127	▲ 41	▲ 86	
		幼稚園 ← → 保育所					

※1 平成27年度からの子ども・子育て支援新制度における施設型給付費を受ける保育所・幼稚園・認定こども園は、「特定教育・保育施設」に含み、私学助成を受ける従来型の幼稚園は「上記以外の幼稚園」に含みます。

令和5年度の取組と今後の事業計画、課題等

令和6年3月現在では、幼稚園部分の利用定員1,251名に対し780名の利用実績があり、保育所部分では1,530名の定員に対し1,378名の実績であった。この結果から、保育所部分においては、152名分保育需要を上回る定員を確保しているように見受けられるが、保育士不足の影響などで、各施設において十分な保育士数を確保できていない状況もあることから、希望する保育所等に入所することができない「入所待ち児童」が依然として生じている。そのため、保育所部分の定員を確保しつつ、市内の保育施設等における人材確保を支援するため、令和5年度より新たに「保育士等就労定着支援事業」を実施し、令和6年度も継続して保育士等の確保に努めていく。利用定員については、今後も事業者の意向を確認しながら需要量を満たすよう設定していく必要があり、定員変更の必要性について協議をしていく。